

まこと通信

小規模まこと ほのぼの日記



「一日、一笑」を目標にまことに来ると毎日がレクリエーション活動のように楽しんでいただけるよう試行錯誤で頑張っています。

まこと通信は、「まこと」とご利用者様・ご家族様の情報共有のひとつとして発行しております。まことの提供サービスを紹介し、実施している内容に対して少しでもご理解とご協力をいただき、よりよい介護サービスの提供に努めて参ります。発行は毎月10日を予定しています。

新型コロナウイルス感染症の影響

安倍総理が「緊急事態宣言」を出されました。北海道の鈴木知事が「緊急事態宣言」を出されてから実に40日目。鈴木知事の決断と断行は評価に値する。しかし、安倍首相の発言はどうか。お金のバラマキの印象はあっても、コロナ自体の封じ込めの対策としては弱腰に見える。検査体制をいつまでも確立させないのも意図的に感じる。不都合なことをきちんと説明して、国民の安心・安全な生活を守って頂きたいと切に願う。

東京・大阪・福岡をロックダウンさせず、感染者が次々と増えている現状。一般市民や私もまことも、3月の送別会から4月の入社式・歓迎会を取りやめ自粛している中、慶応大学病院の研修医の飲み会でのクラスターや、京都大医学部附属病院(京都市左京区)の6割に当たる57人の飲酒を伴う会食。守る側の人間がコロナ感染を広げている。国民の命を守る先端にいる立派で優秀な医師ですらこのような行動をとるのであるから、国民の個人の判断に任せてどこまで自粛できるのかという疑問がよぎる。国としての対策を取るのであれば、自粛ではなく、外出禁止や宴会禁止・渡航禁止など罰則を設けて国家として取り締まりを強化して、国としてどうあるべきかをはっきりと打ち出してもらいたい。結局のところ自粛という言葉で責任の所在をごまかし、金銭でごまかす一番醜い所が出たのではないかと。

介護業界は慢性的に人手不足です。リーマンショック時多くの失業者が出て介護人材へ流れ、人材確保ができました。今回は、賃金保障や生活保障という名目で、補正予算が組まれ、支出される。それゆえ、国民一人当たり1000万円の借金が今回の救済政策でどのぐらいに増えるのか。その後の日本は復興できるのか非常に不安であるし、介護分野をはじめとする慢性的な人手不足分野に人材の流入が始まるのは、もう少し先になる。それまで、この混乱の中で、介護事業所はやって行けるのであろうかと非常に不安を感じている。小さな事業所では、一人でも感染者が出れば、職員・利用者全員が濃厚接触者となる。2週間出勤停止の隔離となるだけで、この職員がいない現在の状況をどのようにカバーしたら良いか皆目見当がつかない。

ワクチンや治療薬の研究開発が進められて、治療薬ができるのは今年の年末ぐらいとの報道もあった。インフルエンザ治療薬のアビガンが効くとか、先日18日には東京大学医科学研究所の井上純一郎教授らは、新型コロナウイルスの治療薬候補として現在急性肺炎(すいえん)の治療に使われる「ナファモスタット」を特定したと発表した。ナファモスタットは国内で30年以上使われている薬剤で、早期の臨床試験実施が期待できる。臨床研究は国立国際医療研究センターなどと連携し、4月初旬までに開始する見込みと報道した。病院の医師・看護師をはじめとして最先端でコロナと戦っている人々も多くいる。まことの介護職員も、「埼玉から孫がきたが会わないんだ」とのこと。私が「せっかくなのにどうして?」って聞きましたら、「移ったら大変でしょ。しばらくしてから会うの」とのこと。私は、なんてすばらしい職員と一緒に働いているんだろうと感じました。

経営者として、この難局を回避するために、まこと内の他事業所との連携の在り方。事務員等の応援のあり方など、万が一の時にはその対策をシミュレーションしておくことが大切だと感じている。

まずは、平常時の今でも介護職員が足りていない問題を解決することが第一優先である。ぜひ、この文章をお読みいただいた方で、まことで働いてみたいと感じた方はご一報ください。未経験でも丁寧に指導して、介護福祉士(国家資格)取得まで導きます。お知り合いの方などいらっしゃいましたら、ご紹介をお願いいたします。



まこと職員のご息が書かれた小説をプレゼントしていただいた。作者はいろいろ苦労されており、現在もその状況と向き合っているようだ。ストーリーは青春物と言っていいたろう。臨床心理士・障害施設支援員の経験から病気や障害の描写は細かくてわかりやすい。私は、画用紙の表現が好きで、できれば叙事的表現と詩的表現でその世界をもっと広げて描写してくれると嬉しい。これから世にはばたく釧路出身の若くて気鋭の作家と期待する。桜木柴乃さんを超える作家になるかもしれない。今なら、釧路の書店の店頭と並んでいる。手に取って頂き、ぜひ、お買い求めいただき応援していただければ幸いです。

工作レク①



3月の工作レクは、壁画作りをしました。各テーブルに分かれて、お花を作ったり、折り紙を丸めたり、大変な作業でしたが皆さん真剣に取り組まれました。

工作レク②



順番に出来上がったお花を並べるのは、大変でしたが、とても綺麗に並べられていました。

お手伝い



食事の下ごしらえのお手伝いをお願いしました。とても上手に皮むきをされ、とても助かりました。また、お願いしたいと思います。

塗り絵



最近、小規模まことでは、塗り絵がブームになっています。「この色いいね」と話をされながら、一枚、一枚、色を塗り素敵な作品が出来上がっています。

おやつレク①



おやつレクでは、菱餅風ゼリーを作りました。沢山のフルーツを使い、ゼラチンで固めて作りました。

おやつレク②



とってもカラフルなゼリーが出来上がりました。おやつ時間に皆様と美味しくいただきました。

吉田の奮闘記

まだまだ新型コロナウイルスの話題で持ちきりです。そんな中でも、小規模まことを利用されている皆様は元気に毎日を過ごされています。つい先日、ご利用者様の一人が急な発熱があり、かかりつけ病院に連絡したところ『コロナウイルスの感染防止のため、発熱がある方の診察はできません』と断られてしまいました。他にもかかっている病院があったため、そちらに連絡をするも『コロナウイルスを心配するなら保健所に、熱だけが心配なら一度近くのクリニックで紹介状をもらってから受診してください』との話があり、どこもすぐには受け入れてくれませんでした。結局、電話確認の時点で断られてしまったり、すぐには診てもらえないということもあり、最終的には違う病院で診ていただくことができ、風邪との診断でした。コロナウイルスの流行がなければ、すぐに病院へ行き診てもらえたと思いますが、かかりつけの病院でさえも難しい状況であることを改めて感じました。ちなみにこの方は、現在は熱も下がり今まで通りの生活に戻っています。1日でも早く収束してくれることを祈りながら、手洗い・うがい・アルコール消毒を徹底している毎日です。ご利用者様も、なかなか外に出られませんが、代わりに施設内でかるた・塗り絵・おやつ作り・料理の下ごしらえと、レク活動の時間を作っています。でも、やっぱり外に出て気分転換したいですね！

小規模やよい ほのぼの日記

喜びや楽しみはもちろん悲しみも共有しながら、それぞれの個性を大切に生活を送っていただけるように、安心・安全をモットーにサービスの提供に努めます。



3月3日 桃の節句



今日は、桃の節句です。五目御飯とお刺身でお祝いをしました。皆さん、楽しそうに、美味しく召し上がっていました。

調理レク ①



今月の調理レクは、「ムース」作りです。「果物を切るのは任せてよ」と、次々と果物を切り分けて下さいます。

調理レク ②



「こっちは任せとけ」と生クリームを混ぜたヨーグルトを器に、取り分けてトレーに乗せていきます。

調理レク ③



「おいしーねー」と満面の笑みで、召し上がられています。一目見ただけで、どれほど美味しいのかが、よくわかる笑顔ですね。

玉入れゲーム



なかなか外に出られない日が続いているので、身体を動かしましょうと、今日は「玉入れゲーム」をしました。どちらの勝ちなのでしょう？

的あてゲーム



こちらは「的あてゲーム」です。いつもの体操より、腕が上がり、遠的にも当てられそうですね。的のガチャピンもヒヤヤしたのではないのでしょうか。

大柳の奮闘記

去年8月より介護技能実習生として当事業所に従事している「張さん」。半年程が経ち「聞く」・「話す」・「書く」ことの日本語のすべてが、みるみる上達しています。そして、3月17日に介護技能実習評価試験(初級)が行われました。介護の基礎的な技術試験と筆記試験で見事合格致しました。張さん本人の努力はもちろんですが、職員も日々丁寧に指導してくれたお陰だと思えます。本人もとても嬉しい様子で、ご利用者様の所へ行き、「受かりました」と報告をし、ご利用者様と一緒に喜んでくれていました。これで張さんは3年間、実習が可能となります。本人は介護福祉士の資格を取りたいという目標を持っています。まだまだ丁寧な言葉遣いなどが出来ないこともあります。しかし、それは指導する私たちも日常からきちんとした言葉使いが出来ていないという側面があるのかと思います。指導を通じて、私たちも今一度、ケアを見直すことが介護技能実習生を受け入れた一つの目的でもありますので、この機会に職員みんなで改めていきたいと思えます。

まだまだ新型コロナウイルスで大変な状況が続いております。4月1日からは、ご家族様も面会時には検温、マスク着用、手洗い、消毒をしていただき、居室のみで面会が可能となっております。ご不便をお掛けいたしますが引き続きご協力をお願いいたします。

グループホームまこと ほのぼの日記

☆天気の良い日は外に出掛けよう！家の中でも、何か楽しい事はないかな？
事前に計画した行事は少ないのですが、思い立ったが吉日！



開設記念日 集合写真



3月19日に開設10周年を迎えました。10年目の集合写真です。

牛乳パック ホッケー



このゲーム、いつも白熱するんです。あやこがビュンビュンと滑り合います。終わり頃には、「暑いー」と体がポカポカしています。

〇×ゲーム



ホームにちなんだ問題が数多く出題されました。「どっちな」と悩みながら〇×の札を挙げられていました。

ビンゴゲーム



皆様が大好きなビンゴゲームです。数字が読まれると「あるかい」とスタッフに聞きながら穴をあけていました。

ぼた餅作り①



お彼岸に合わせて、ぼた餅を作りました。炊き立てのもち米にあんこを自分の好きなだけ纏わせ、美味しく頂きました。

ぼた餅作り②



各階でぼた餅づくり。形良く上手にあんこをつけていました。味も見た目も完璧でしたよ「美味しい」と好評でした。

柴田の奮闘記

4月になり、入園・入学・就職・転勤など、新生活がスタートした方達も多いかと思えます。とは言え、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、例年とは全く違った新年度となりましたね。その為、子供達の卒業式や入学式が無くなり、寂しく思っています。

さて、先月は面会禁止となった事もあり、ご家族様やボランティアの方達の来訪もなく寂しい期間となりました。外に出かけることも難しく、髪も伸び放題。「もうそろそろ、髪を切りたいね」との声が、チラホラ聞こえていました。いつも同じ顔ぶれで生活しているのも刺激がなく、何とかホームの中で楽しめるように・・・と、あれこれ試しました。大きなイベントは桃の節句と開設記念のお祝い。1年の振り返りスライドショーは、たった1年なのに懐かしく写真の枚数も多く楽しめました。自分の写真に気付かず「私じゃないよ！」と言い張る方。おぼろげながらに写真を頼りに思い出している方。自分の写真が映る度に恥ずかしがる方。様々です。TVの画面に映し出すくらいでは小さく、見えない方もいて、来年への新たな改善が必要です。残念なのが、ご家族様に観て頂けなかった事。このコロナ感染症の事態がある程度収束し、いつでも面会にお越しいただけるようになった時には、ご家族様にも見て頂きたいと考えておりますのでご期待ください。それまでは体調管理を行い感染予防に努めて過ごしたいと思えます。

グループホームやよい ほのぼの日記

ご利用者様、一人一人の要望に全力で向き合い、常にご利用様本位のケアを行います。職員一人一人がご利用者様の笑顔溢れた暮らしを支援していきます。



ひな祭り



3月3日はひな祭。ご利用者様と職員が、全て1階に集合し、福笑いなどのゲームを行いました。

お手伝い



朝ご飯のあと。職員に「手伝うよ」と食器拭きのお手伝いをしてくださいます。さすが主婦です。

開設記念①



グループやよいも今年で7年目になりました。今年も無事にこうして迎えたことに感謝します。これからも元気に過ごしていきましょう。

開設記念②



開設記念に皆様でお寿司とお蕎麦を頂きました。「おいしいね」と召し上がられていました。

ホワイトデー



3月14日のホワイトデーで、マシュマロを使っておやつ作りをしました。皆様色々な形に作られていました。

お料理



職員と一緒に料理をしました。「久々に料理したけど大変だね」と言われながら、一生懸命料理を作ってくださいました。

石黒の奮闘記

最近、職員とご利用者様との会話が成立していないことに気づきます。最近何かあったかと言えば、新型コロナウイルスの感染予防の為、職員はマスクを着用し業務を行っています。よくよく観察していると、いつも通りに会話をしているが、ご利用者様は納得していない表情をします。次に一旦マスクを外し再度会話をすると首を縦に振り納得し安心した表情をされます。これは会話時に表情を見て安心していることに気づきました。上手な職員はマスク着用時でもオーバーアクションで演じ、ご利用者様に不安を与えず、納得するようなコミュニケーションを行っています。会話が成立しない時は、マスクを外す前に相手に受け入れられる言葉やトーン、表情、間合いの取り方、ボディータッチ等工夫したコミュニケーションを行う事でご利用者様も安心して生活が出来るのではないのでしょうか。

話は変わりますが、コロナウイルスの影響で面会に制限がございます。原則1名とし、ご家族様以外の面会のご遠慮いただくことになりました。また面会時は、体温37.5℃以下の確認とマスクの着用、手洗い、うがいの実施後、居室での面会になります。何分不便をおかけいたしますが、ご利用者様の体調管理の為、ご協力をお願いいたします。

小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム ほのぼの日記

「我が家スタイル」の緑ヶ岡ホームの日常です。今月も笑顔の絶えないご利用者様との触れ合いを綴って参ります。いつまでも「本物のお客様第一主義」を念頭に、職員一人ひとりが心配りをマ



カラオケ♡



歌が大好きなご利用者様。「俺、歌手になりたかったんだ！」と楽しそうにお隣のご利用者様と数曲歌ってくださいました。

ダンスタイム



赤いドレスでマンボを踊ってくださいました。「どう？私…素敵でしょ！」

サラダを作っています



「今日のレタスやキュウリは新鮮よ」昼食作りのお手伝いをしてくださいました。いつもありがとうございます。

春分の日



3月20日の春分の日に、みんなで牡丹餅をつくりました。おやつタイムは、いつもよりお話が弾んでいました。

ティータイム



今日のティータイムは、ロールケーキとフルーツよ！美味しそうでしょ！

旗揚げゲームで脳トレ



さあ～旗揚げゲームで、脳シャッキリですよ。赤揚げて！白揚げて！皆さんできましたね！

川村の奮闘記

4月に入り、窓から差し込む穏やかな陽差しに春の訪れを感じる今日この頃ですが、皆様は如何お過ごしでしょうか？引き続き「新型コロナウイルス」関連のニュースが連日流れ、毎日のように感染者増加が伝えられています。感染拡大の不安と混乱は長期戦となるようです。職員はもちろんの事、ご利用者様にも朝の送迎時にご自宅にて検温をして頂き、手洗いと消毒のご協力をお願いしています。一日も早い終息と穏やかな日常生活が戻ってくる事を祈らずにはいません。

暗いニュースが続く中、緑ヶ岡デイサービスでは、活動の縮小や自粛により「何も出来ない！」ではなく「できる事！楽しめる事」を職員で考え「楽しく歌って・笑って・健康に！」を企画しました。出場者を募集したところ、沢山のご利用者様の参加がありました。真剣な表情で曲選びをされ、リハーサルされていらっやいました。蝶ネクタイやドレス・タンバリンやマラカスなども用意し「歌と笑い」をコンセプトに全員参加型で展開出来たら…と思います。今後も、「ワクワク感」を楽しんでいただける企画に職員一同取り組んでいきたいと思ひます。

小さなデイサービス大町 ほのぼの日記

『ご利用様と心をかよわせ、共に生活を支えあう』を、モットーにスタッフ一同、日々頑張っております。



小物入れ



牛乳パックと折り紙で小物入れを作りました！とても素敵に出来上がりました。「完成後は何を入れようか」と皆さんで楽しくお話しされていました。

美人3ショット



「写真撮りますよ～」と近くの3人にカメラを向けると、仲良く寄り添い、美人3ショットを撮ることができました。いつも明るく、元気で笑顔が絶えない大町デイです！

季節は春へ



『桜並木』の壁画を作っている様子です。ピンク色のお花紙を使ったり、画用紙と絵の具で桜の木を作りました。一足早く、大町デイに春が訪れました。

折り紙で作ったあやめ



最近の大町デイでは、折り紙で色々なお花を作ることが流行しています。今回は、あやめを折りました。「綺麗だね～」折り方覚えてお家でも作ってみようとお話しされていました。

お勉強タイム①



午後からお勉強タイム。今日は間違い探し！分からない所はご利用者様同士で助け合われて答えを導き出しておりました。

お勉強タイム②



いつも午後から、クロスワードパズルを行うご利用者様。職員が分からない問題もスラスラと簡単に解いてしまいます！いつも真剣な姿はとても素敵です。

堤の奮闘記

4月を迎え、少しずつ気温も暖かくなり雪解けが進むと福寿草やふきのとうが顔を出し、釧路にもようやく春の訪れを感じられる季節となりました。3月は新型コロナウイルスの影響で多くのご利用者様がお休みをされておりましたが、3月中旬からご利用者様が少しずつ戻られ、「久しぶり、元気にしてたの。見かけないから心配したんだから」「家にもストレスたまってばかりで、ここに来られて良かった。」と笑顔で話される声が飛び交い当事業所も以前と変わらずにぎやかになりました。私も、皆様の元気なお姿を見られ大変嬉しく思っております。そして、ご利用者様からは、「今年も桜を見に連れてって欲しい」とお話がありました。桜が開花したら皆様と桜鑑賞会と称してドライブしながら桜をあちらこちらと見に行きたいと思っております。

さて、なかなか外出レクが出来ないので、おやつレク(4/13～4/17)を行おうと思います。何を作るか職員と話をしていたら、色々意見が出て迷っています。当日のお楽しみにして頂きたいと思っております。

まこと保育園 ほのぼの日記

安心安全な保育を提供し、保護者とともに歩みます。
家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの個性を大切に育てていきます。
子どもの笑顔・保護者の笑顔・保育士の笑顔を目指します。



入園・進級式



4月1日水曜日
4年目で初めて、新入園児が全員そろって出席できました。(今までは、体調不良で揃いませんでした)

おわかれ会



3月27日金曜日3年間に在籍したおともだちが、幼稚園・認可園へ巣立ちました。私たちにとても、感慨深いものがありました。

すずらん組



1歳児クラスに進級です！去年の今頃は、寝返りがやっとだったんですけどね...お友達と同じことを楽しんでますよ。

おさんぽ



今年は雪解けも早く、歩けるようになったお友達は、公園へ散歩に出かけることが出来て嬉しそうです。

すみれ組



2歳児クラスに進級です！お喋りもたくさんできるようになり保育士がいなくても、ごっこ遊びが広がります。

お絵かき



クレヨンを持つ手もしっかりきて、力強い線が描けるようになってきましたね(∇)/

種市の奮闘記

4月1日、1歳児1名・0歳児4名の新入園児を迎え、2歳児6名・1歳児6名・0歳児4名の16名で4年目がスタート致しました。新型コロナウイルスの影響が続く中、マスク・手洗い・検温等のご協力をいただき、何とか入園式を行うことが出来ました。北海道は今のところ落ち着いていますが、全国的には広がりを見せているので、まだまだ注意をする必要があります。昨年、毎月行っていた連携企業訪問交流は、今年度は全てお休みさせていただくことになりました。子ども達も楽しみにしていた行事ですので大変残念です。終息しましたら、またよろしく願います。

5月には1歳児1名・0歳児1名の入園が決まっていますので、4年目を迎え定員19名での理想の形に近づいてきました。年齢毎の発達に合わせた活動も積極的に取り入れていきたいと考えています。新しいすみれ組(2歳児)も、今までのすみれ組を見て学んでいたものを、目を輝かせてやっている姿が頼もしいですし、赤ちゃんだと思っていたすずらん組(1歳児)が、入園したてのお友達を心配して頭をなでなでしてくれる姿も、微笑ましく成長を感じます。活動が制限される1年になりますが、しっかり配慮をしつつ子ども達の成長を見守っていきたく思います。

キャリアアップ支援研修

『 ① リハビリから伝える介護の魅力』 『 ② 笑顔と魅力の介護 』

2月15日(土)釧路プリンスホテルで、第一部「リハビリから伝える介護の魅力」と題し、北海道作業療法士会理事 伊藤耕栄様とNPO法人日本医療福祉介護協会理事長 山田勝雄氏、第二部「笑顔と魅力の介護」と題し、吉本興業(株)所属レギュラー(西川晃啓氏、松本康太氏)のお二人を講師にお迎えし研修会を開催いたしました。

第一部では、山田氏から、人がものを認知するまでの経緯について、伊藤様からは、家族のように利用者様の日常生活に寄り添い、細かい所も気付く介護職員の素晴らしさや魅力についてお話をしました。

第二部では、初任者研修・レクリエーション介護士2級資格を取得しているレギュラーのお二人が、お笑い介護を融合させた介護レクプログラムを披露し、利用者様と対話式で巻き込んでいくコミュニケーションの効果について話され、どなたでも歌や踊りなど自身の得意分野で介護に参加することの大切さなど、笑いを交えて楽しくお話をしました。

参加者からは、「笑いの重要性について学ぶことが出来ました。レクリエーション介護士は魅力的なお仕事だなと思いました」という声が聞かれました。



キャリアアップ支援研修に参加して

小規模多機能型居宅介護やよい 渋谷

今回の研修会に参加して、第一部の山田先生の講演を聞いて、脳の機能や認知症について知識の再確認をすることが出来ました。また、伊藤先生の講演ではこれからの介護業界についてお話をいただき、これからの介護が明るいものであると力強く話され、介護現場で働く者として勇気を頂きました。また、第二部のお笑いコンビレギュラーの講演では、お二人が認知症などについて大変勉強されたうえで、利用者様の認知機能に働きかけるような楽しいゲームを考えていて素晴らしいなと思いました。実際、紹介していただいたゲームはとても面白く、自然と笑いが起きる素敵なゲームでした。私の所属している施設でも楽しくゲームをしたいと思います。

まことクイズ



～今月の問題～

この写真の坂の名前は何か？

1. ひぶな坂
2. 出世坂
3. 休み坂



～先月の問題～

この写真の公園の名前は何か？

1. 釧路幸町公園
2. 芦野1号公園
3. 柳町公園

答えは3番の柳町公園でした。

感染症対策についてのお願い

猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染予防対策として、当事業所でも万全の態勢を取るべく努力しております。各ご家庭・ボランティア様・無料開放ご利用者様・業者様の配送等におかれましても趣旨をご理解いただき、次の点につきましてご協力くださいますようお願いいたします。

- ① ご利用者様が感染した場合は、ご自宅にて対応していただきます。
- ② 各施設への出入り・面会等を制限しております。必要な場合は、ご要件等を事前にご連絡ください。
- ③ 不要不急の外出を控えてください。外出時には、マスクを着用し、うがい・手洗いを徹底してください。
- ④ 通所(デイサービス・小規模多機能)のご利用者様は、37度5分以上の熱がある方はご利用を中止させていただきます。
- ⑤ 日頃協力いただいているボランティア様・無料開放ご利用者様につきましても当分の間中止。業者様の配送は、玄関先で対応させていただきます。

ケアプランセンターまことからのお知らせ



4月になり、入学や就職等、新生活の季節です。3月5日は爆弾低気圧による大雪と猛吹雪で大変でしたが、1か月ほど随分春らしくなってきました。釧路地方の山菜採りは毎年ゴールデンウィーク時期にあたること多いですが、今年の冬は暖かかったこともあり少し時期が早まるかもしれませんね。新型コロナウイルス関連の情報は毎日のように報道されています。しっかりした手洗いと咳エチケット等により感染を予防していきましょう。お一人暮らしのご年配の方、お身体の事や介護のことで悩んでいる事等、御座いましたらお気軽にご相談ください。

ケアプランセンターまこと 管理者 玉木

TEL 0154-68-5531 FAX 0154-68-5399

まこと作品展出品作品②



小さなデイサービス大町



小さなデイサービス緑ヶ岡



現在の空き状況

4月8日現在

施設名	空き人数	備考	お問い合わせ先TEL	担当者
小規模多機能型居宅介護まこと	2名	通り可	0154-41-3633	吉田
アシストリビングホームまこと	0名		0154-41-3633	吉田
グループホームまこと	1名		0154-41-8355	柴田
グループホームやよい	0名		0154-42-2078	石黒
小規模多機能型居宅介護やよい	4名	通り可	0154-64-5210	大柳
アシストリビングホームやよい	1名		0154-64-5210	大柳
小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム	空き有り		0154-68-4850	川村
小さなデイサービス大町	空き有り		0154-42-8377	堤

随時ご相談に応じておりますので、
どんな事でもお気軽にご連絡ください。



ま ころこめて こ の住み慣れた場所で と もに築きます

発行:株式会社リハビリサポートまこと

住所:釧路市大町5丁目2番21号

電話:0154-44-7733 発行責任者: 代表 山田勝雄